

**PAT-NO:** JP357055224A  
**DOCUMENT-IDENTIFIER:** JP 57055224 A  
**TITLE:** MOTORCYCLE PROVIDED WITH TURBOCHARGER  
**PUBN-DATE:** April 2, 1982

**INVENTOR-INFORMATION:**

NAME	COUNTRY
KIMURA, HIROSHI	
MINAMI, TOSHIHARU	

**ASSIGNEE-INFORMATION:**

NAME	COUNTRY
YAMAHA MOTOR CO LTD	N/A

**APPL-NO:** JP55128146

**APPL-DATE:** September 16, 1980

**INT-CL (IPC):** B60K013/04 , B60K013/02

**ABSTRACT:**

**PURPOSE:** To prevent a driver from adverse effect of exhaust pipe heat by aggregating and extending exhaust pipes below an engine be connected to a turbocharger.

**CONSTITUTION:** Exhaust pipes 19 are aggregated 20 below an engine 1 into a pipe member 21 to be connected to a turbocharger 23 provided between the engine 1 and a rear wheel 3. Since the exhaust pipes are aggregated below the engine 1, the shape of the aggregate can be freely designed, and a driver is prevented from an adverse effect of heat since no exhaust pipe is at the side of the engine.

**COPYRIGHT:** (C)1982,JPO&Japio

より吸気干渉を防止する機能を果す。

一方、渦巻ポンプ(23b)とエアクリーナ(4)及びサージタンク(3)を接続する管部材(24)は車体フレーム(A)の内側において配管されるが、渦巻ポンプ(23b)、エアクリーナ(4)、サージタンク(3)が互いに近接して配置されているから、その管部材(24)の長さが短くて済みエアクリーナ(4)から気化器(25)までの通路長さを可及的に短くして吸気抵抗を小さくできる。

しかし、上記ターボチャージャー(2)に接続される管部材(24)、エアクリーナ(4)及びサージタンク(3)が夫々車体フレーム(A)の内側に配置されているから、自動二輪車の倒覆時それらがターボチャージャー(2)とともに車体フレーム(A)で保護され、それらの損傷を防止することができる。

本発明は、上記の如くターボチャージャーをエンジン後部と後輪との間に配置すると共に、エンジンの各気筒に接続されたエキゾーストパイプをエンジン下部で集合させ、その集合部の下流側を延長して上記ターボチャージャーに接続したので、

エキゾーストパイプをエンジン下部の広いスペースを利用して楽に集合させることができると共に、その集合のさせ方も自由に設定できる。

また、エキゾーストパイプが従来のもののようにエンジン側方に位置しないから、エキゾーストパイプの熱による搭乗者への悪影響を防止することができるという効果もある。

依って所期の目的を達成し得る。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明装置を示す一部切欠側面図、第2図は第1図の(II)-(II)線に沿える拡大断面図、第3図は第1図における仰視拡大図である。

尚図中

(A)…車体フレーム	(1)…エンジン
(3)…後輪	(4)…エキゾーストパイプ
(24)…集合部	(2)…ターボチャージャー

